

エコアクション21

# 環境活動レポート

54期

平成27年10月～平成28年9月

平成29年3月6日

株式会社 伊藤組

代表取締役 伊藤智仁

## 《環境方針》

(株)伊藤組は、建設構造物の施工・廃棄物処分事業を通じて、地球温暖化の防止、限られた地球資源の有効活用を図る。環境・品質・安心を企業責任の優先課題として、品質・環境経営マネージメントに社員一丸となり取組むことを誓約する。

又、地域社会の環境保全活動に参加するとともに、自社活動の一端が所属業界の標準となれるよう行動する。

## <環境行動指針>

弊社は岩手県地域を主とした建設事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を一つの課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 弊社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
  - 車両運転を改善し燃料の削減をします。
  - 照明・冷暖房・工事施工・産廃中間処理工程の節電に努めます。
  - 建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
  - 水資源使用の削減および排水の汚染、汚濁の防止を図ります。
  - 施工で使用する材料に含む化学物質を適切管理します。
  - 環境に配慮した施工を推進します。
  - グリーン購入の拡大を推進します。
  - 地域との連携をとり地域の環境保全活動に参加します。
3. この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

平成27年3月7日

株式会社 伊藤組

代表取締役 伊藤智仁



## 取組の対象組織・活動

### 建設業 事業所概要

#### (1) 事業者名及び代表者名

株式会社 伊藤組

代表取締役 伊藤智仁

#### (2) 所在地

・本社 岩手県花巻市山の神 797 番地 1

電話 0198-24-1193 FAX 0198-24-9798

・機材センター（二枚橋中間処理場）

岩手県花巻市二枚橋 5 地割 473 番 15

・幸田最終処分場 岩手県花巻市幸田第 8 地割 407 番 1

・滝沢中間処理場 岩手県滝沢市字後 268 番 585、268 番 1078

・盛岡支店 岩手県盛岡市清水町 6-1

・北上営業所 岩手県北上市鬼柳町都鳥 232-1

・山の神給油所 岩手県花巻市山の神 812

#### (3) 環境管理責任者名及び連絡先

責任者：取締役工事担当 高橋潤吉

連絡先：所在地本社と同様

e-mail : junkichi@itougumi.co.jp

#### (4) 事業内容

1. 土木、建築の設計及び請負
2. アスファルト合材の販売
3. 産業廃棄物の処理
4. 石油製品の販売
5. 不動産売買、仲介及び斡旋
6. 不動産の賃貸
7. 地盤及び骨材の調査、試験、計測及び解析
8. 前各号に付帯する一切の事業

#### (5) 認証登録範囲

全社、全事業活動、全従業員を対象とする。

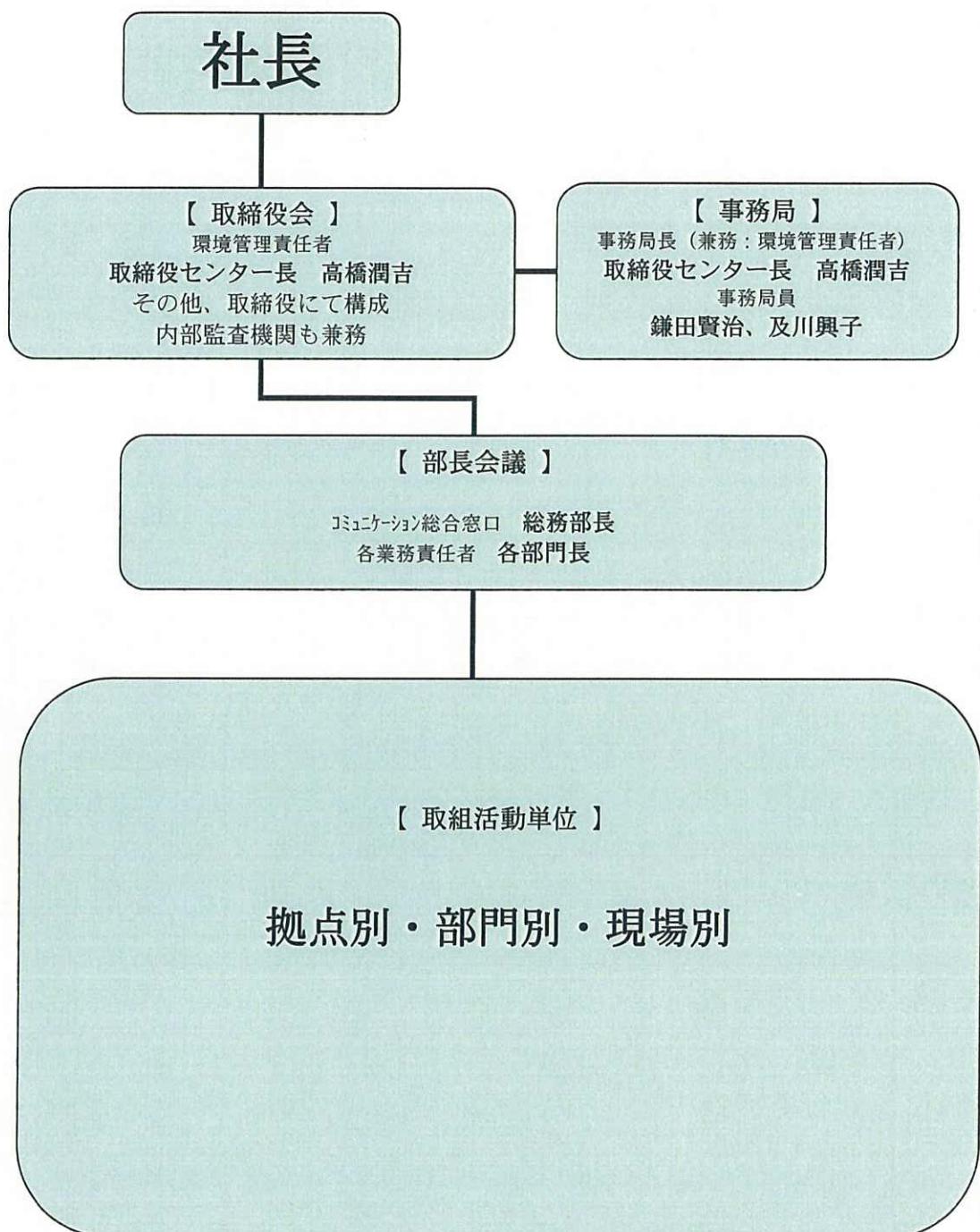
（ただし共同事業体、関連企業への出向者は除く）

#### (6) 事業規模

	単位	第52期	第53期	第54期
売上高	百万円	6,732	7,302	5,885
土木		2,115	1,354	1,541
建築		2,732	4,216	2,916
工事その他		51	201	131
兼業		1,834	1,631	1,294
（兼業の内産廃処理）		(54)	(51)	(47)
従業員（正社員）	人	128 (128)	135 (135)	121 (121)
敷地面積	m <sup>2</sup>		71,357	
最終処分場面積	m <sup>2</sup>		22,562	
埋立容量	m <sup>3</sup>	77,200 (H28.3月末残容量：24,769 m <sup>3</sup> )		

#### (7) 事業年度 10月～9月（産廃については、集計上、4月～3月とする）

## エコアクション21の実施体制図



## 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	伊藤智仁	①環境管理責任者を任命する。②環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。③取組に対する資源を用意する。④方針を決定する。
環境管理責任者	高橋潤吉	①代表者に代わってシステムを構築し運用する。②代表者に結果を報告する。
取締役会	各取締役	①取締役会を内部監査の組織とする。②取締役会は週1回、執り行われており、必要に応じて環境管理責任者が議題を提案、決議を行う。
各業務責任者	各部門長 (センター長含む)	各業務内において①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。②必要な教育訓練を計画し実施する。③EA21目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。④公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
コミュニケーション窓口	総務部長	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
事務局	環境管理責任者、他	活動の取り纏めを行う。
従業員	全員	①各業務責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。②EA21取組に関する教育訓練を受ける。③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。④改善提案を行う。

# 環境目標設定書

## (1) 短期及び中期数値目標

項目	単位	基準値	53期目標	54期目標	55期目標
二酸化炭素排出削減	kg-CO <sup>2</sup>	1,035,768	1,025,410	1,015,156	1,005,005
電気使用量削減	MJ	2,736,584	2,709,218	2,682,126	2,655,305
燃料使用量削減	MJ	12,375,075	12,251,324	12,128,811	12,007,523
紙使用量削減	t	1.88	1.86	1.84	1.82
水使用量削減	m <sup>3</sup>	1,969	1,949	1,930	1,911
廃棄物削減	t	21,352	21,138	20,927	20,718

(53期~55期は過去3期のベスト実績数字を基準値とし、年次1%を削減目標とする)  
(なお、事業量に応じて総量が変化するが、基本、削減するように努める)

## (2) 各業務での目標について

「結果の集計、行為の列記」のレベルから「成果を出せる」レベルに向けて活動のベクトルを修正していきます。

1. 課題に対する具体的なアクションを決め、そのアクションの効き目を確かめる手法による取り組みを習得する
2. 失敗を活かす、失敗により学んだことを活かす取り組みにするために、実施した取り組みにより得た成果により、次の取り組みがどのように変化、工夫されていったかを確認する手法に切り替える。実施した取り組みにより目的に近づいているかを常に意識すると、実施した取り組みによる結果を、次の取り組みに取り入れることが可能になるはずである。これを半年サイクルで内部監査も含めて対応する。
3. 取り組みの内容のレベルアップにより「成長が実感できる」とは、どういうことかを考えながら実施する。レベルアップにはPDCAの手法が欠かせない。計画し、実行し、その取り組みをチェックすることで次の取り組みに繋げる流れを「2」の流れを通して実現できるように対応する。

会社の方針、環境行動指針に掲げたことがどのように取り組まれているか、部門単位、半期ごと(結果については毎月集計)に見直すことで会社全体の環境改善活動に繋げていきます。

## 環境活動計画

数値的なものは三か年計画で活動を見ていくが、今期はその二年目である。  
環境活動計画及び具体的取組を次のとおり策定した。

### 1. 環境関連法規の遵守に関して

環境関連法規については、とりまとめ表の定期的な見直しを実施する。

特にも「現場」の部分については、施工計画などに盛り込みながら活動する。

### 2. 重点的な環境活動について

#### ① 燃料使用量の削減

- ・車両のエコドライブの励行。
- ・事務所内の暖房温度を適正化する。集中暖房とブルーヒーターの使い分け。

#### ② 電気使用量の削減

- ・昼休み時間の消灯、不用な電気の消灯。
- ・残業及び夜間時照明は必要最小限度にする。
- ・1時間以上席を離れるときは電源を切る。帰宅時はPCのコンセントを抜く。
- ・冷房設定は事務所内温度の適正化する。

#### ③ 廃棄物発生の抑制

紙資料の削減の推進

- ・仕入れ数量の適正化。
- ・ゴミを分別してリサイクルに努める。

#### ④ 水使用量の削減

- ・生活用水を出しつぱなしにしない等節水に努める。
- ・給油所内の散水は出しつぱなしにしないで節水に努める。

#### ⑤ 化学物質の削減

- ・建設材料選定時のチェックに努める。
- ・溶剤等の利用状況の把握、在庫の管理に努める。

#### ⑥ 環境に配慮した施工の推進

- ・施工計画に盛り込んだ活動を行う。

#### ⑦ グリーン購入の推進

- ・グリーン購入品を限定し、利用を推進する。

#### ⑧ 地域環境への貢献

- ・環境ボランティア活動への参加。
- ・空き社有地を地域活動に貸出す。
- ・職場体験の受入。

### 3. 環境方針の全従業員への周知、徹底

## 環境活動の取り組み結果と評価

### (1) 54期（平成27年10月～平成28年9月）の取組結果

項目	単位	54期目標値	54期実績値	達成の可否
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,015,156	978,645	×→○
① 電気使用量削減	MJ	2,682,126	2,593,587	×→○
② 燃料使用量削減	MJ	12,128,811	11,833,420	×→○
③ 紙使用量削減	t	1.84	1.69	×→○
④ 水使用量削減	m <sup>3</sup>	1,930	1,514	○→○
⑤ 廃棄物削減	t	20,927	16,968	○
⑥ グリーン購入推進	—	—	—	○
⑦ 地域環境貢献	—	—	—	○

※購入電力の排出係数は、東北電力の実排出係数(平成23年)を使用した。0.547(kg-CO2/kWh)

※⑤廃棄物削減については、H26年4月～H27年3月データより算出

### (2) 取組評価

54期は中期計画（三ヵ年）の二年目であり、取り組み項目、目標値を引継ぎながら活動している。会社の方針からの各部門への落とし込み活動は前々期52期より重点的に行っている活動であり、部門での活動計画及び実績の確認（半期ごと）を内部監査にてフォローする流れを継続している。内部監査にて次期計画の立案について協議し、各部門での協議内容を反映させていくことが継続できている。

取り組みの結果については、温室効果ガス排出量は目標値を達成しており、目標値の96%と36,511kg-CO2ほど削減となっている。単純に工事量が減り、売り上げも前年より約20%の減と考えると取り組みの効果は落ちている感じを受ける。

電気の使用量、燃料の使用量、水の使用量ともに総量としても目標値より削減は出来ている。電気と水道については各拠点での数値であり、この辺は節約の活動が浸透しているのではないかと考えられる。

来期54期はデマンド管理による電気量のコントロールを始め、他社の取り組み事例を参考に会社としての具体的な取り組みも計画していく必要があると認識し対応してきたが、デマンド管理は意識づけレベルでの使い方になっている。他社の取り組み事例を参考にした活動は継続していきたい。他社の良い事例を自社で少しずつでも取り入れる取り組みを環境の活動を通して実施できるようにしたいと考えています。

会社としての環境活動の一つ、メガソーラーは54期設備を増強し、1.5Mから2.2Mに増設しております。参考までに年間の発電量からCO2換算すると、1,231,212kg-CO2であり、弊社のCO2発生量を上回っております。この辺は一つの参考数字として扱いなら、更なる環境負荷低減に取り組んでまいります。

地域の環境活動、清掃活動にも積極的な参加をしており、地域環境貢献については継続的な貢献が出来ているとものと判断します。

## 取組内容（54期）

環境方針に基づく活動の例を事前に検討し、検討した内容を参考に当期の計画を立案してもらうことにより、より掘り下げる活動、効果的な活動に繋げたい。

### ■手順

- ①「環境方針に基づく活動の参考の取り組み」についての確認
- ②参考の取り組みから選択、または元にして部門の取り組みの決定  
(達成の状態を数値または状態(○○になっていればよい)を定める)
- ③半期ごとに実施事項の見直しを実施する。

<p>【環境方針を参考して取り組みをします。】</p> <p>【出た話題】</p> <p>使用量を把握する(車ごと、現場ごと、機器ごと)。 比較をする(スタンダードの実データと、個別の日報の集計データ)。 エコ運動のチェックをする。 　　アイドリングストップの徹底。 　　車内清掃による荷物の整理。 　　車間距離確保の普及。 　　外部講習会への参加。 　　内部講習会の開催。 運行ルートの見直し。 社員の報告書の作成。</p> <p>【どれをどういると燃料の削減になるか】</p> <p>①燃費率を維持するためエコ運動を取り組みます(個人メイン)。 　　・燃費のチェック。 　　・エコ運転が出来ているかのチェック。 ②社有車の使い方の見直しを取り組みます(部門メイン)。 　　・車、部署の使用量を把握。 　　・スタンダード実データと報告書の内容の検証。 　　・配車の見直し、ルートの見直し。 　　・積載物のチェック。 　　・使用台数の削減。</p> <p>【説明・会議室・工事施工・産廃中間処理工程の節電に努めます。】</p> <p>【出た話題】</p> <p>社内の電気製品が本当に必要なものか確認する。</p> <p>【誰か電気機器の電源が立たないとき】</p>	<p>■タクティカルを推進し、産廃物を削減します。</p> <p>【出た話題】</p> <p>再利用計画を立てる。 施工方法を改善提案。 燃えないゴミに再利用できるものが入っているので点検。 ステップバイステップの再利用。 適切な使用量のための管理。 打合せはペーパレス化。 ゴミの量を定期的に確認し、話題にする。 造設地の確保。 土の搬出に関する情報交換。 民間工事で隣接の同時施工。 分別の徹底。</p> <p>■環境関連法規等を遵守します。</p> <p>【出た話題】</p> <p>定期的に部門の活動結果を報告する。 規制を知る(チェックシートなど提出できるもので確認)。 チェック表を作成し、毎週、毎月のチェックの実施。 届け出、報告期限のチェック。 施工計画に必ず確認している旨を記入、チェックする。 定期的に実施状況を確認する。 環境関連法規について変更がないか確認する。</p> <p>【どれをどういると遵守していることになるか】</p> <p>定期的に環境関連法規についての学びを得る場を設定します。 社内で取り決めた環境関連法規の変更がないか確認します。 施工現場では施工計画立案時に必ず施工内容と関連法規を確認します。 強社として提出すべき提出物については月1回、読みあわせついでチェックします。</p> <p>■本資源使用の削減および接着剤の充填、汚染の防止を行います。</p> <p>【出た話題】</p> <p>洗車の場所、回数を決める。 車内の車利用を減らす。</p> <p>■この環境方針は全従業員に周知、徹底します。</p> <p>【出た話題】</p> <p>部門の朝礼、終礼にて唱和。 強化月間活動。 方針や部門の取り組み内容を定期的に発表する場を設ける。 取り組みの状況を報告する場を持つ。</p>
---	---

図 - 環境方針に基づく活動の参考の取り組み

### ■注意点(社長より)

「確認」や「チェック」と言う表現がふんだんに使われますが、次の意味合いについて考えてみてください。

あって欲しい姿は『やったかどうかチェックして、磨かれたかどうか確認する』

言葉の意味は、チェックも確認も同じですが、前半と後半では伝えたい意味が違います。

逆にして、『やったかどうかを確認し、磨かれたかどうかチェックする』も同様です。

仮に、『やったかどうかをチェックして、磨かれたかどうかチェックする』とすれば違和感があるでしょう。

ようは言葉は何でも構いませんが、意図することが理解出来ないと取組み後の姿を変えることが出来ません。

エコに限らず、何をしようとして取り組むのか固めていないとチェックと言う無駄な行為が起きてしまうのです。

この点に注意して検討してみてください。

## 環境関連法規等の違反、訴訟等の報告

環境関連法規制等遵守チェックリストにより評価した結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。産業廃棄物処理についても「いわて地球環境にやさしい事業所認定」の取組等において、適宜、対応しております。

関連当局より違反、訴訟等はありませんでした。

ただし、「NEXCO 東日本東北支社発注の東日本大震災に係る舗装災害復旧工事の入札参加業者に於ける行政処分」として、来期 55 期に

指名停止 12 箇月（平成 28 年 10 月 19 日～平成 29 年 10 月 18 日）

営業停止 60 日（平成 28 年 12 月 13 日～平成 29 年 2 月 10 日）

が確定しております。

## 代表者による全体評価と見直し記録

行動はしているものの年数を経るほどに成果が感じられなくなってきたおり、報告書も記録集化してきました。原因は、手段(メッセージ)と道具(ツール)を混同しているからでしょう。このところの会社キーワードは「磨きをかける」です。ところが磨きは、手段にも道具にもかけられるものです。その結果、道具にかけた磨きが成果だと勘違いしやすいのです。例えば、手順(マニュアル)の工夫は手段を意味しますが、手順書の作成やその徹底度を集計するパソコンは道具です。何故か優れたパソコンやソフトを入手すれば仕事を進めた気になりますが、手順を磨いたこととは性質が全く異なります

今回の評価についても、記録する習慣が定着したことは良いことですが、相変わらず目的が不明瞭と感じます。このことは更に管理という行動の理解が不足し「ボタンの掛け違い」に気づけないのが原因とおもわれます。そもそも、管理とは記録することではなく、目的に近づいたか確認し、ズレがあれば修正し、更には効率よく目的に近づけていくことです。

計画は、目的とその実現のための手段で構成され、記録によって進捗確認をします。ただし、記録は道具(ツール)であって手段ではありません。そもそも記録は、計画が曖昧でも実行できるし磨きもかけられます。その結果、記録が上手く行くことと仕事をしたことを同一視してしまい易く、気がつくと成果物は記録だけ。唯一の評価は前年対比。改善したようにみえる数値も背景の異なる状況で今後に活かすにも疑問を感じるのであります。

さて、振り返るべきはこの一年で磨きのかかった行動(手段)です。この切り口がないと取り組んだことの羅列になってしまいます。

例えば、どの部門でも取上げたエコ運転を題材にすれば、初めはどの対応(手段)が優れているか日々の記録から見つけ出し、次に最も良いと判断した運転(手段)を皆で共有するのです。最初の記録(ツール)は手段と燃費の関係であり、次の記録(ツール)は普及すべき手段と実施度合いです。つまり、良い方法を発見したら、その行動の徹底こそが管理課題です。記録に力が入ると取り続けた姿を評価しがちですが、これでは意味がありません。

同様に、訓練の目的は訓練によって課題を発見することです。故に、その報告は「無事終了しました」ではなく「新たな問題を見付けました」です。このことは理解できていると思われますが、「環境上の緊急事態の訓練結果」では別の訓練の必要性について気付くところで終わり、次の展開に進んでいません。なお、出来れば無かつた(別件)ことの指摘ではなく、やったことの中から課題を発見する能力を定着願いたい。

平成 29 年 3 月 6 日

代表取締役 伊藤智仁



## 廢棄物處理組織概要

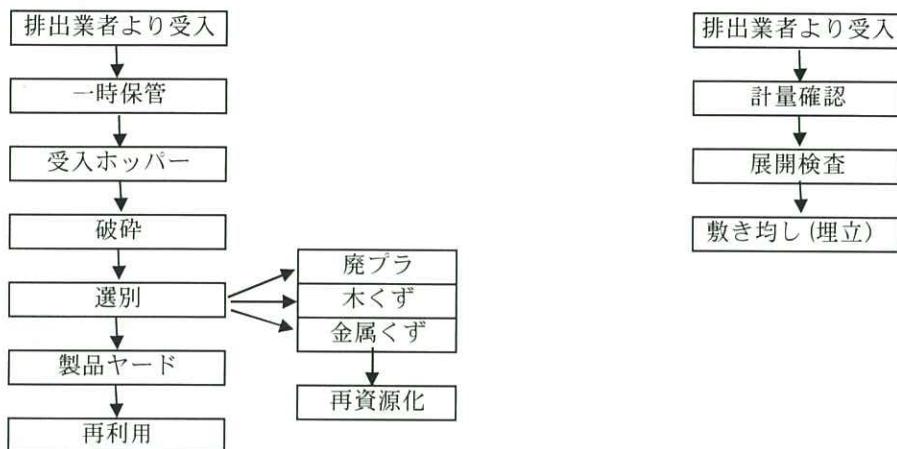
## 組織の概要(情報公開)

事業の規模	事業年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	売上高 (百万円)					
	収集運搬量	0	0	0	0	
	中間処分量 t	93.147	104.164	104.349	122.529	
	最終処分量 m³	758	564	600	399	
	社員・従業員(名)	135	128	135	121	
	法人設立年月日	昭和38年2月1日	資本金	99.95	百万円	
	許可名／許可番号	年月日	事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)			
	産業廃棄物処分業	許可 342011047	平成25年11月27日	中間処理(破碎処理) がれき類及び陶磁器くず。		
		有効	平成30年11月26日	固定破碎Ⅰ 岩手県滝沢市字後268番地他 固定破碎Ⅱ 花巻市二枚橋第5地割473番地15		
許可の内容				中間処理(移動式破碎施設による破碎処理) がれき類及び陶磁器くず。		
				移動式 岩手県滝沢市字後268番地他		
				最終処分(埋立処分) がれき類		
				安定型最終 花巻市幸田第8地割401番1		
	産業廃棄物収集運搬業	許可 342011047	平成25年11月27日	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類		
		有効	平成30年11月26日			
	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	
	中間処理施設			最終処分	安定型埋立	
	固定破碎Ⅰ	がれき類		ホイルローダー	1.4m³	
	破碎機	85t/h	1台		1台	
設備	ホイルロータ	2.1m³	1台	運搬車両		
	油圧ショベル	0.7m³	1台	ダンプトラック	2t車	1台
				キャブオーバー	4t車	5台
	固定破碎Ⅱ	がれき類		清掃車(吸引式)	4t車	1台
	破碎機	100t/h	1台	ダンプトラック	4t車	1台
	ホイルロータ	3.9m³	1台	キャブオーバー	2t車	1台
	油圧ショベル	0.7m³	1台	清掃車(強力吸引式)	4t車	1台
				清掃車(吸引式)	10t車	1台
	移動式破碎機	固定破碎Ⅰと同一				

处理方法·处理工程

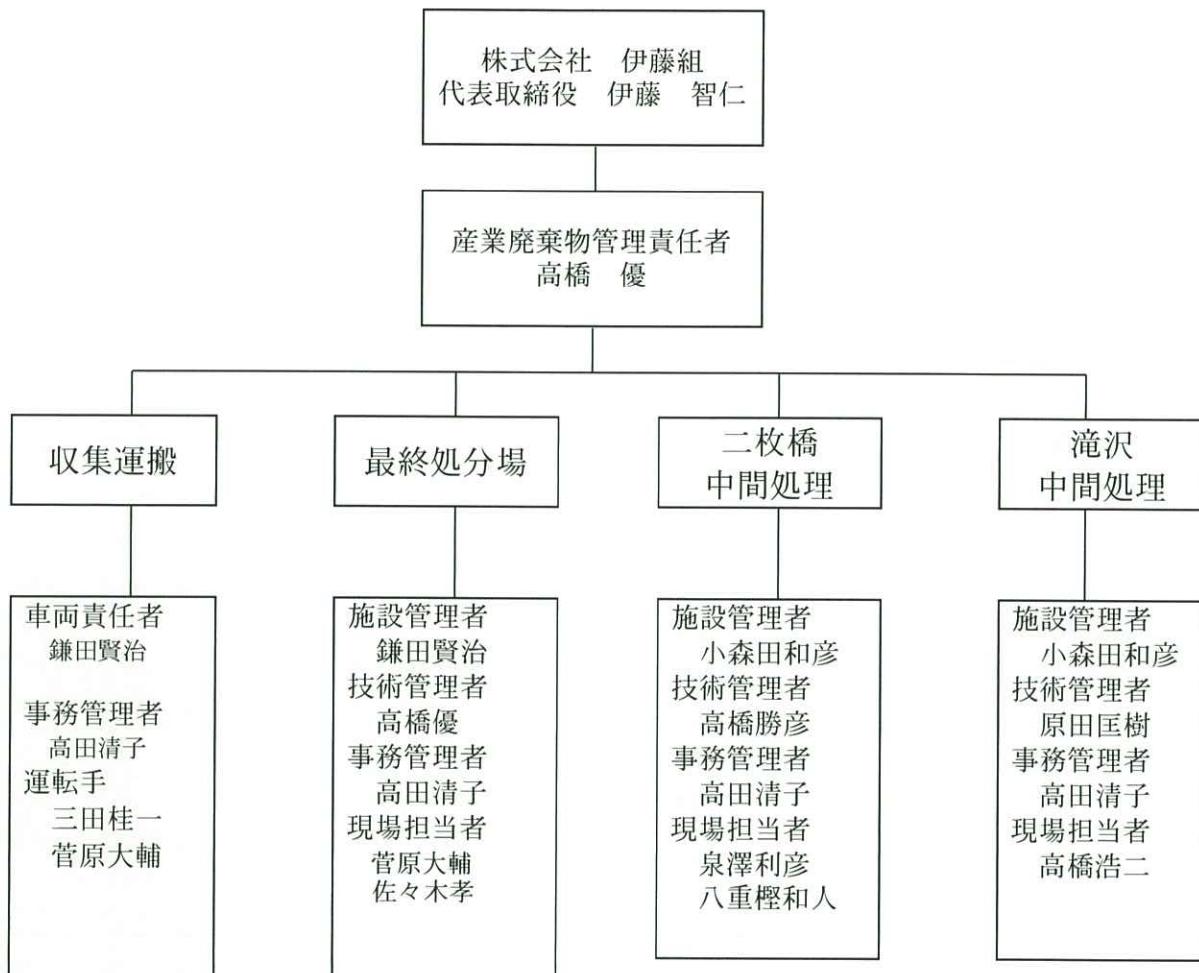
中間處理施設

#### 最終処分（安定型埋立）



廃棄物処理料金	処理物	標準価格	単位	受入基準・処理方法
	アスコン塊	1,800	t	50×50角、破碎後再利用
	コンクリート塊（無筋）	1,800	t	50×50角、破碎後再利用
	コンクリート塊（有筋）	2,300	t	50×50角、破碎後再利用
	二次製品	2,800	t	破碎後再利用
	がれき類（安定型最終処分）	7,000	t	埋立て

## 産業廃棄物処理 組織図



# 株式会社伊藤組 産業廃棄物業者 情報公開ウェブサイト概要

## ●マネジメント

- 9-2 会社情報
- 9-3 事業計画の概要、最終処分、中間処理、収集運搬許可証
- 9-4 財務諸表
- 10-3 処理施設の概要
- 2-1 産業廃棄物処理 組織図
- 6-2 環境保全技術に関する資格者及び講習修了者一覧表
- 6-3 関係する講習会受講一覧表及び、有資格者、講習修了者一覧表
- 9-5 処理料金表

## ●幸田最終処分場

- 6-1 実績表
- 6-2 施設の概要
- 6-3 埋立処理工程
- 6-4 施設維持管理記録

## ●中間処理場（二枚橋・滝沢）

- 6-1 実績表
- 6-2 施設の概要
- 6-3 破碎処理工程
- 6-4 施設維持管理記録

## ●収集運搬

- 4-1 運搬車両一覧表
- 4-2 実績表